

2025年度水辺の自然再生共同シンポジウム

生物多様性第4の危機、温暖化の影響と 水辺の生き物たちの行方

シナイモツゴ・ゼニタナゴの大崎市天然記念物指定と保全



上写真：保全池の人工水草に生息していたトンボのヤゴ等。ザリガニ防除による低密度化に伴い増加したが、気温急上昇により小型ザリガニが急増して再び減少した。
(コサナエトンボ、コシアキトンボ、モノサシトンボ、ミヤケミズムシ)
2023年5月6日(長谷川撮影)

下写真：小型ザリガニ用連続捕獲装置①：簡単な操作で大量捕獲(② 541尾・2.1kg/5台)。明室をやや暗くし、入口に大型ザリガニ侵入防止用ネットを設置、長期間設置可能。
2025年6月14日(高橋撮影)

期日：2025年11月22日(土) 会場：大崎市役所会議室

主催：水辺の自然再生共同シンポジウム実行委員会

(NPO法人シナイモツゴ郷の会、旧品井沼周辺ため池群里山未来協議会、大崎市、シナイモツゴ郷の米づくり手の会、全国ブラックバス防除市民ネットワーク)

後援：大崎市教育委員会、JA新みやぎ、TOYOTIREグループ環境保護基金

企画責任団体：NPO法人シナイモツゴ郷の会

◀ 問い合わせ先：シナイモツゴ郷の会 MAIL:yy0910*ktj.biglobe.ne.jp TEL：090-1377-2844 ▶

大崎耕土
世界農業遺産



OSAKI
KODO

LOCALLY IMPORTANT
AGRICULTURAL
HERITAGE SYSTEMS

この要旨集は令和7年度環境省
生物多様性保全推進支援事業で
作成しました。

